令和3年度（上期）
指定管理施設管理運営状況報告書

施設担当課: 都市活力 部 産業振興 室 文化振興 課

1．基本情報

1005

施設名	伊丹市立伊丹郷町館		
施設の設置目的	市民の共有する文化財を公開するとともに、歴史、文化に関する事業を推進することにより、市民の教養の向上並びに文化の発展を図る。		
伊丹市総合計画（第6次）における関連施策	政策大綱： 市民力･にぎわい･活力 施　策： 歴史･文化 実施施策： 芸術･文化活動の促進		
指定管理者の名称	公益財団法人いたみ文化・スポーツ財団 （団体の住所又は所在地） 伊丹市宮ノ前1丁目1番3号伊丹市立文化会館（東リ いたみホール）内		
選定方法（公募・非公募）及び指定期間	非公募	平成 31 年 4 月 1 日 ～ 令和 4 年 3 月 31 日	
管理運営上の目標（管理運営の指定管理者の具体的目標）	指標名	管理作業回数 （単位： 回 ）	
	指標の意味	清掃・風通し・文化財の保存状態確認等の作業回数	
	今年度の目標値	100	上期の実績値 57

2．利用状況

利用状況等の推移		H17※	H29	H30	R元	R2	R3（上期）	R3（通期）
	来館者数（人）	32,043	78,226	65,499	46,670	7,830	0	
	貸し室稼働率（%）	17	24	17	12	8	0	
	延べ事業開催回数(回)	0	20	25	19	3	0	
	延べ事業参加者数(人)	0	15,632	9,411	6,559	40	0	

※H17年度は、指定管理者制度未導入。

3．経費情報

<単位:千円>

			区分	令和元年度（2019）	令和2年度（2020）	令和3年度（2021）計画	令和3年度（2021）実績（上期）
指定管理者の収支	収入		使用料収入	313	166	0	0
			事業収入	32	6	0	0
			その他	0	0	0	0
			指定管理委託料	17,844	14,641	9,996	4,803
			①合計	18,189	14,813	9,996	4,803
	支出	維持管理	光熱水費	2,323	1,456	568	35
			清掃等委託料	7,161	3,926	1,633	29
			土地建物賃料	0	0	0	0
			修繕料	123	102	51	0
		運営	人件費	8,507	8,568	7,520	3,284
			事業等経費	0	0	0	0
			その他	367	128	224	35
			指定管理納付金	0	0	0	0
			②合計	18,481	14,180	9,996	3,383
	純収支（①−②）			△ 292	633	0	1,420

施設の管理運営に係る実質経費（市の負担）※ <単位:千円>		H28	H29	H30	R元	R2	R3（上期）
	市の収入	0	0	0	0	0	0
	（内、使用料収入）	0	0	0	0	0	0
	市の支出	20,609	15,525	26,645	18,423	14,641	4,803
	（内、指定管理委託料）	17,382	15,525	21,789	17,844	14,641	4,803
	実質経費（歳出－歳入）	20,609	15,525	26,645	18,423	14,641	4,803

※施設建設等に係る市債償還などの経費は、支出に含んでいません。

４．業務評価

評価項目		（具体的内容）	評価結果			
			指定管理者自己評価 評価	指定管理者自己評価 特記事項	施設担当課評価 評価	施設担当課評価 担当課所見
管理体制等に関する事項	維持管理業務の実施状況	館内の清掃を定期的に実施し、常に清潔に保たれているか。	B	職員が定期的に清掃や風通し等を行い、文化財の適切な保存を図っている。また、再オープンに向けて工事側と調整しながら、設備維持のための保守点検を適宜実施。備品管理等も適正に行っている。	B	工事中ではあるが風通し等を行い、文化財の適切な維持管理や設備等の保守点検を適宜実施。備品管理も適正に実施。
		保守点検等は、協定書・仕様書に基づき適切に実施しているか。	B		B	
		備品等は、台帳を整備し適切に管理しているか。	B		B	
		修繕業務は、市と適宜協議しながら適切に実施しているか。	B		B	
		環境に配慮した施設運営に取り組んでいるか。	―		―	
	職員配置などの実施体制	館長等、必要な職員の配置をおこなっているか。	B	感染症対策として休憩時間をずらしたほか、緊急事態宣言中は出勤者を減らし、職員配置を調整した。	B	感染症対策のため職員の配置を調整できている。
		職員研修は、計画どおり実施しているか。	B		B	
		防火管理者等、管理にあたって必要な資格を持った職員を適正に配置しているか。	B		B	
	防犯・防災対策への取組状況	緊急時の連絡体制は整っているか。	B	非常時に迅速に対応できるよう、連絡体制を整備。文化会館の消防訓練に参加。	B	緊急時の連絡体制は整っている。消防訓練は仮事務所である文化会館と一緒に実施。
		避難訓練を実施しているか。	B		B	
運営等に関する項目	サービス向上への取組状況等	サービス向上や利用者増へ向けた取り組みを行っているか。	B	昨年度までの事業実施の際に寄せられた意見・要望等を勘案しながら、再オープン後の事業展開を検討している。	B	利用者からの意見や要望について適切・迅速に対応している。
		利用者の意見を施設運営に反映する仕組を確立しているか。	B		B	
		苦情・トラブルに対し、適切・迅速に対応しているか。	B		B	
		特定利用者を優遇したり、理由もなく利用を制限している事例はないか。	B		B	
	事業等の実施状況	指定管理者として実施すべき事業は、計画どおり実施しているか。	―		―	
		施設の設置目的を達成するための効果的な事業展開がなされているか。	―		―	
	個人情報保護・情報公開への取り組み	各種申請書類等は、適切に保管しているか。	B	個人情報保護方針を順守し運用している。	B	利用者情報など適切に管理されている。
		利用者情報などの電子データの取扱は、適切に行っているか。	B		B	
		ホームページの作成や広報紙等を活用した情報提供を積極的に行っているか。	B		B	
	収支の状況	収支計画に基づき、適正に運営しているか。	B	適切に執行している。	B	収支計画に基づき、適切に行われている。
		経理処理は、適切に行っているか。	B		B	

「評価」欄の記号の意味
「A」＝協定書・仕様書等の水準を上回っている。
「B」＝協定書・仕様書等の水準を満たしている。
「C」＝協定書・仕様書等の水準を満たしておらず改善を要する。
「－」＝当該項目での評価対象外。

施設所管課総評	
総合評価	再整備工事により休館中であるが、定期的な清掃と風通しを行い、文化財の資料整理を進め、国・県指定文化財、旧岡田家・旧石橋家住宅の保存が図られた。また今後の文化財の活用策についても検討している。
B	

「総合評価」欄の記号の意味
「AA」＝非常に良好である又は非常に成果があった。
「A」＝良好である又は成果があった。
「B」＝取組状況の水準が普通である。
「C」＝改善すべき点が見受けられ、改善を要する。

☆利用者満足度調査(アンケート)結果と対応【実施期間】 －

※再整備工事による長期休館中のためアンケートの実施無し（従来は文化財活用事業や館内布置でアンケートを実施。令和3年度は館での事業無し。）

実施の有無	主な回答	主な対応
無し		
回答者数		
0		

５．改善指摘事項等

市からの指摘事項	指摘事項に対してとられた措置